

通 報 承 認 申 請 書

① 年 月 日			
東京消防庁 ② 消防署長 殿 ③ 申請者 住 所 電 話 () 氏 名			
火災予防条例第61条の2の規定により事業所火災直接通報の承認を受けたいので、下記のとおり申請します。			
記			
防 火 対 象 物	所 在 地	④	
	名 称	⑤ 電 話 ()	
	用 途 等	⑥ 項	階数 / 構 造
就 業 時 間 帯 等	勤 務 時 間	⑦ 時 分 から 時 分 まで ・ 24時間	
	休 業 日	⑧ () 曜 日 ・ 無 休	
	緊 急 連 絡 先	連 絡 先 名 ⑨ 電 話 ()	
※ 受 付			※ 経 過

- 備考1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 2 ※印欄は記入しないこと。
 3 緊急連絡先の欄には、勤務時間外及び休業日に連絡をすることができる電話番号を記入すること。

非火災報防止対策の状況		<input type="checkbox"/> 蓄積式の受信機又は中継器 <input type="checkbox"/> 二信号式の受信機 <input type="checkbox"/> 蓄積付加装置 <input type="checkbox"/> 感知器の適材適所		
火災通報装置	品名	⑩	型式	⑫
	製造会社	⑬	認定番号	⑭
⑮ 通報順位	第一順位	東京消防庁		
	第二順位	氏名	電話	()
	第三順位	氏名	電話	()
	第四順位	氏名	電話	()

駆け付け者の状況	駆け付け者の有無	⑯ 有 ・ 無		
	駆け付け者の連絡先	連絡先名	⑰ ()	
	到着に要する時間	⑱ 分		
	内部進入のための鍵の保有状況	<input type="checkbox"/> 入口から自動火災報知設備の受信機の設置場所までの間 <input type="checkbox"/> 全ての居室等 <input type="checkbox"/> その他 ()		

鍵の状況	自動解錠装置の有無	⑳ 有 ・ 無		
	自動解錠装置の方式	㉑		

- 備考1 非火災報防止対策の状況の欄には、該当する項目の□にレ印を付すこと。
- 2 通報順位の欄は、情報提供できる防火対象物の関係者を順次記載すること。
- 3 駆け付け者とは、防火対象物が無人のときに火災通報装置からの通報を受けて当該防火対象物に駆け付けてくる者をいう。
- 4 内部進入のための鍵の保有状況の欄には、該当する項目の□にレ印を付すこと。

記入要領

項目	記入要領
①	申請日を記入します。
②	防火対象物を管轄する消防署名を記入します。
③	申請者の氏名欄が法人の場合は、法人名称及び代表者氏名を記入します。 なお、電話欄は代表電話番号を記入します。
④	防火対象物の所在地を記入します。
⑤	防火対象物の正式名称を記入します。 電話番号は、自動火災報知設備の受信機設置場所に最も近接している箇所の電話番号を記入します。
⑥	用途等が複数となる場合は、代表棟の用途・階数・構造を記入します。
⑦	勤務時間は、正規の勤務時間帯とし、残業等の時間帯は含みません。 複数の事業所が入居し、勤務時間に相違がある場合は、全事業所のうちで最も早い出社時間と最も遅い退社時間を記入します。
⑧	休業する曜日を記入します。無休の場合は、「無休」を○で囲みます。
⑨	建物関係者等の緊急連絡先を記入します。
⑩	該当項目にレ印を付します。
⑪	品名は、製造会社が製造した火災通報装置の商品名を記入します。
⑫	型式は、各製造会社の火災通報装置の機種番号を記入します。
⑬	火災通報装置の製造会社名を記入します。
⑭	(一財)日本消防設備安全センターの認定番号を記入します。
⑮	通報順位を決める場合は、防火対象物の近くに居住する関係者で、かつ、管理監督的な地位にある者から指定します。
⑯	該当項目を○で囲みます。駆け付け者が有の場合は、⑰～⑲を記入します。
⑰	駆け付ける建物関係者の連絡先・電話番号を記入します。
⑱	送信信号を受信後、建物関係者が現場に駆け付けられる時間を記入します。
⑲	該当項目にレ印を記入します。
⑳	該当項目を○で囲みます。
㉑	製造会社仕様の自動解除装置の機種名及び使用方法について簡記します。